

※インターネット「はらまち九条の会」で、「九条はらまち」の全号を見ることができます。



九条はらまち

「はらまち九条の会」ニュース No. 7 4

2008(平成20)年8月20日(水)発行

<69年前の1939(昭和14)年8月20日は、ロシアのノモンハンで日本軍壊滅の日>

1868年の明治維新以後、日本は日清・日露戦争、第一次世界大戦での勝利に慢心し、資源もエネルギー源もないのに大国ぶってしまいます。ノモンハン事件とは、満州国とモンゴルとの国境のノモンハンで、日本軍とソ連・モンゴル軍との衝突戦闘事件。5月に始まり、8月に死傷者日本軍17,000人、ソ連・モンゴル軍9,000人、日本の関東軍第23師団の死傷者11,000人でほぼ全滅、日本軍は壊滅状態で、もしも「日本はあの時に自重していれば、次のアジア太平洋戦争突入は避けられたか、もっと違った歴史が」と考えられるポイントと言われています。

大看板の文言「世界は憲法9条をえらび始めた」はどんな意味?

○8月10日(日) 15時から17時まで。原町区本町銘願館で開催。参加者は15名でした○

第3回学習会・事務局の説明<要旨> (説明:事務局長山崎健一・50分・資料配付)

- 1. 現憲法の成立過程、無意味な「押しつけ」論、「押しつけ」論の2つの根拠は?**
現憲法はアジア・太平洋戦争の深い反省と、それ以前の人類の歴史の叡智から生まれたもので、今さらアメリカの「押しつけ」というのは誤りで、ちょっと勉強すればお分かりになることです。
 - 2. 「憲法9条」の理念の思想水脈は?** ギリシャ以来の平和や非戦の思想、中国、ローマ、カント、自由民権運動、そして1928年の不戦条約などが9条の源です。特に幕末にも、自由民権運動の中江兆民、植木枝盛などに、日本人独自の戦争否定や不戦の思想がすでに主張されています。
 - 3. もう軍隊の時代ではない、軍隊のない国は世界に27カ国もあります。**
世界193カ国のうち、27カ国(14%)が軍隊がない国です。コスタリカ、パナマ、アイスランド、ルクセンブルク、リヒテンシュタイン、サンマリノ、アンドラ、モナコ、ヴァチカン、モルディブ、モーリシャス、パラオ、ソロモン、マーシャル、ミクロネシア、キリバス、ナウル、ツバル、バヌアツ、サモア、セントクリストファー・ネヴィス、ドミニカ、セントルシア、セントヴィンセント・グレナディンズ、グレンダ、クック諸島、ニウエ、の27カ国<地域>。国家成立時の初めから軍隊を持たない国や、コスタリカのように途中で軍隊を廃止した国などさまざまです。「独立国は軍隊を持つのが当たり前」という時代ではない。軍隊を初めから持たない方が、国際法に守られ侵攻されず戦争に巻き込まれず平和な国でいられる。沖縄戦で渡嘉敷島の「前島」は、日本兵の駐留を断ったために、米軍の攻撃を受けなかった唯一の島です。そこから「無防備地域(都市)宣言」の考えも出てきます。
 - 4. 世界の軍事費の状況、軍需産業へのムダ遣いの愚かさ** 軍事費は①位はアメリカ4049億ドル、②ロシア、③中国、④フランス、⑤位日本428億ドル。莫大な予算を国民の医療、年金、福祉、教育、災害対策、インフラ整備、石油高騰対策など国民生活にまわす方がずっと賢明です。
 - 5. 世界の核兵器所有国の状況、一方で核兵器禁止条約は?** 核兵器保有国は、アメリカ・ロシア・イギリス・フランス・中国・インド・パキスタン・北朝鮮・イラン?・イスラエル? 一方、核兵器を廃棄した国は、南アフリカ・リビア・アルジェリア・ブラジル・アルゼンチンなど♥。現在南半球は、アフリカ、東南アジア、南太平洋、中南米、南極が条約を結んで非核地帯になっています。北半球では1992年モンゴルが一国非核宣言をしていますが、相変わらず仮想敵国を作って愚かしい核兵器を保有し軍備を増強。日本はアメリカに追随して「非核三原則」も守られていないようです。
 - 6. 「憲法9条」の影響で成立した諸条約** 明確には説明できませんが、井上ひさしさんの講演によれば、非軍事をうたう「南極条約」、「南太平洋非核地帯条約」、「海底非核兵器条約」、「東南アジア非核地帯条約」、「アフリカ非核地帯条約」、「中南米核兵器禁止条約」などは、憲法9条の考えや影響で成立しました。日本ではないがしろにされていても、「憲法9条」は世界で本領を発揮しています。
 - 7. 今、良識ある国々から注目され採用される「憲法9条」** 非核条約を締結している53のアフリカの国々で、またノーベル平和賞受賞者や、国境をこえて活動しているNGOの各代表は「憲法9条」を高く評価し、「人類の未来は9条の平和理念でなければならない」と訴えています。
 - 8. これからの私たちの運動の方向は、何をすれば?** 日本政府が「憲法9条」を守らないのですから、例えば、私たち市民は9条を活用する「無防備地域宣言」運動などはどうでしょう。無防備地域宣言は国際慣習法や1977年のジュネーブ諸条約に根拠をもちます。現在では、無防備、非武装こそ、最も身を守る賢い安全策です。南相馬市議会にも署名を集め請願してはどうでしょうか。
 - 9. 憲法問題 一問一答** よく話題になる質問、■非武装で侵略されたらどうする、■北朝鮮のテポドンや軍拡の中国に備えるのは当然だ、■平和は憲法9条よりも日米安保体制のおかげだ、■国家も戸締まりが必要だ、■押しつけ憲法を変えるのは当たり前、などの意見にどう反論したらよいのでしょうか。
- 事務局山崎の説明は、つつい盛りだくさんのことを話して焦点が定まらず、混乱させただけと反省しています。看板の文言の説明になっていないかも知れませんが、次の3点を<結論>としました。
- ①資源や地球環境、災害などを考えても、将来の人類は「憲法第9条」の理念で生きるしかない。
 - ②「憲法第9条」は世界から注目され、良識ある人々や各国で大いに採用されはじめている。
 - ③非武装中立こそが日本の道で、夢ではない。軍備、軍隊は縮小し、災害救助隊に変えるべきです。

第3回学習会・参加者の意見<要旨>

○参加者15名・約50分間○

- ①昨年南相馬市議会に提出して否決された「九条を守る意見書」を、今年も再度提出しましょう。
- ②テレビ討論で、桜井よし子は「道徳の乱れがあり、改憲して憲法に国民のさまざまな義務を明記すべきだ」などと何度も発言しています。でも「憲法」は政府や為政者の暴走を国民から守る法で、細々とした国民の生活に関するものは一般の「法律」で規制するという「立憲主義」ということを全く理解していない。そんな無謀な発言をそのまま報道するマスコミのあり方が、大変危険だと思います。
- ③市議会議員さんの戦争観や、憲法への認識をたずねてみたいものです。議員さんの肉親の戦死者などの戦争体験も集めて、「九条はらまち・戦争体験」に掲載させていただきましょう。
- ④教育勅語の復活をいうわけではありませんが、「親子の情」や「兄妹愛」などは、今の社会でも大事な道徳のように思われますし、「人を殺すな」「戦争はいけない」という9条に通じる面もあります。
- ⑤④の意見については、確かに今の世の中で強い道徳規範が必要ですが、新しい道徳を作らなければならない時です。教育勅語に戻ることは危険です。道徳規範だけで世の中が乱れているのではなく、格差やワーキングプアや身分不安定な派遣社員のような社会背景も考えなければいけないと思います。
- ⑥戦争体験者の真実の声で、いろいろな戦争志向の考えを論破するようにしたいものです。
- ⑦南相馬市議会議員さんと、九条の会会員との「戦争と平和の懇談会」などを開催してみませんか。
- ⑧戦争で利益を得る人がいるんですね。
- ⑨活動が、会の中だけの内輪の活動にとどまらないように、会員以外の市民にも憲法を広めたり、共感できる活動にしたいものです。
- ⑩九条の会会員を増やすための「勧誘パンフレット」を作りましょう。
- ⑪九条の会の外への発信が大切ですね。
- ⑫今日の事務局の説明で、「軍隊のない国が世界で27国もあること」「膨大な軍需産業・軍事費のムダ遣い」「南半球がすべて条約で核兵器廃止地帯になっている」など、初めて知りました。よかった。



▲活発だった学習会

●最後に、この学習会の資料のために使用した本など20点を紹介しました。



特にお勧めの本3冊 ①山室信一『憲法9条の思想水脈』朝日新聞社 ¥1300+税

②岩波ブックレットNo.721「マガジン9条」編『使える9条』¥480+税

③前田朗(まえだあきら)『軍隊のない国家・27の国々と人びと』日本評論社 ¥1900+税

●学習会資料(A4版・22ページ)残部あります。ご希望の方は事務局山崎(TEL22-8631)へ。

- 本会のこれからの行事として考えられるのは、●市議会へ「憲法九条を護る意見書」の2回目の提出 ●ジョー・オダネル写真展・原爆詩の朗読会・戦争展 ●戦争体験を聞く会 ●市議会へ「無防備地域宣言」の請願 ●原町の戦跡を歩いて見学する会 ●戦争と平和の映画会 ●お菓子作りの会 ●豆腐作りの会 ●篠笛を聴く会 ●吉永小百合さんをお呼びして詩の朗読会?など。ご意見をどうぞ!

事務局より

〇〇〇「はらまち九条の会」会員も357名に増えました!〇〇〇

- ◇皆様のご協力により看板も完成することができました。心より御礼と感謝を申し上げます。今回の学習会でも参加者の皆様から貴重な意見を頂きました。参考にして会を進めて参ります。(平田慶肇)
- ◇毎回学習会で得る情報・知識が、「九条」を守る気持ちをさらに高めてくれます。もっと多くの方に参加して頂けたらと願っています。(石田賢二)
- ◇「九条」を取りまく状況が少し緩んで来たように見える昨今ですが、何かきっかけがあれば、必ず新たな動きが出て来ると思います。油断せずしっかり準備しておきましょう。(早坂吉彦)



- ◇世界で軍隊をもたない国が27もあることを学びましたが、みんな小さな国ばかりですよ。その中で日本のような国がリーダーシップをとったなら、もっともっと平和になっていくのではないかと思います。(井上由美)
- ◇看板用のカンパをいただいた人から、「なーんだ、もっと、すごく大きい看板を想像していたんだ」と言われた。本当はもっとでかく、もっと目立つようにしたかったです。(番場恵子)
- ◇皆様のいつも温かいご支援、ご協力に感謝しています。出来ることで、力量に応じて活動を積み重ねていきましょう。戦争番組を見るにつけ、戦時中も現在も「リーダーの責任の重大さ」を実感しています。(山崎健一)

事務局員連絡先 (市外局番は TEL0244)

- ・平田慶肇会長 TEL24-1211
- ・山崎健一事務局長 TEL22-8631
- ・井上由美(会計) TEL22-7511 FAX26-0892
- ・石田賢二 TEL22-4037
- ・早坂吉彦 TEL22-0326
- ・番場恵子 TEL22-0715
- ・岡田光生 TEL23-1921
- ・事務局住所 (〒975-0014 福島県南相馬市原町区西町3-53-2 山崎健一)

